いのちとくらしをまもる
防　災　減　災

岡山県の地震
令和7年(2025年)8月

目　次

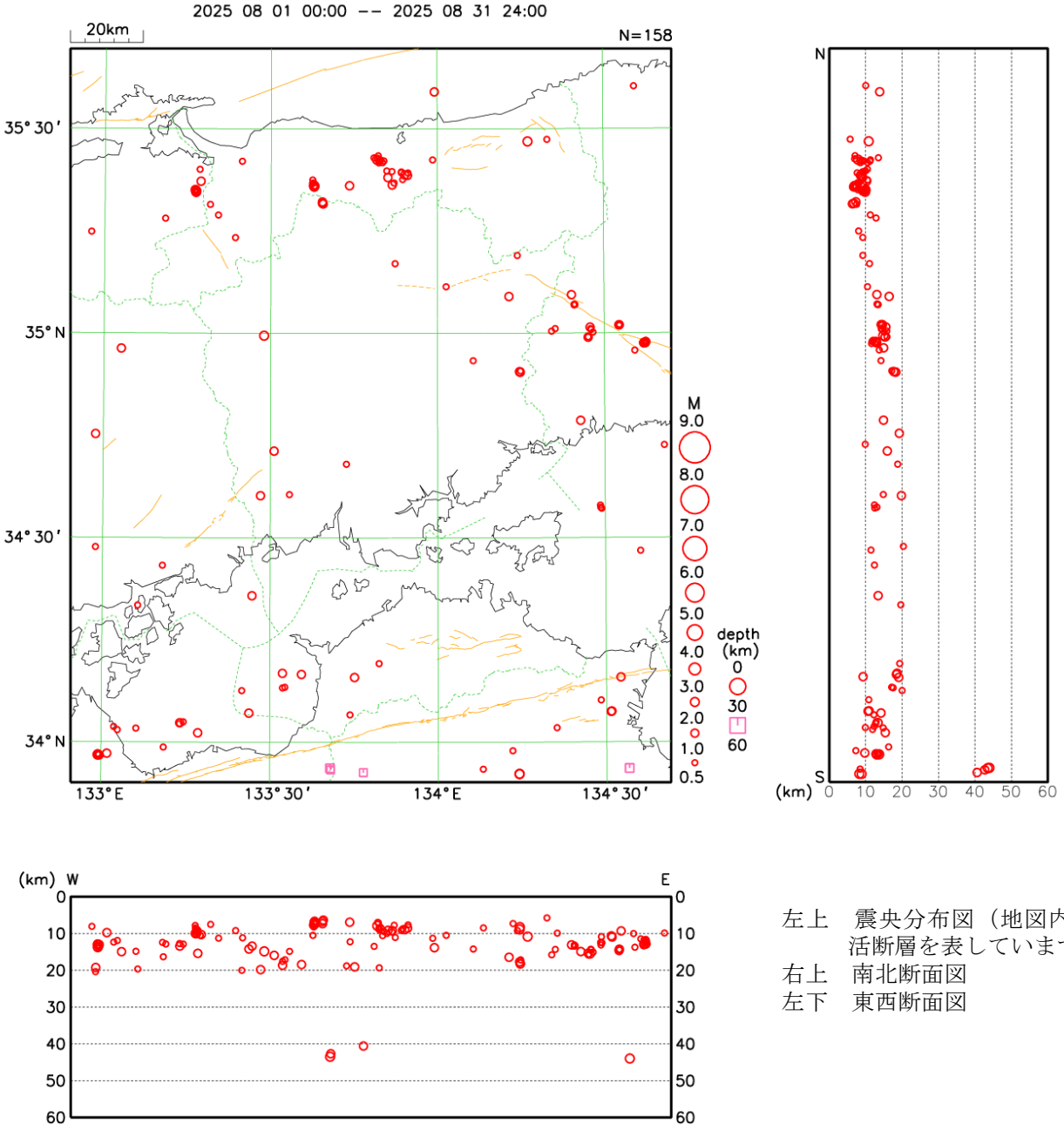
○岡山県及びその周辺の地震活動（８月）
　震央分布図及び断面図　… 1
　概　況　… 1
　岡山県において震度１以上を観測した地震の表　… 該当なし
　岡山県において震度１以上を観測した地震の震度分布図　… 該当なし
○地震防災メモ　№236
　推計震度分布図について　… 2

●「岡山県の地震」は、月１回発行し、岡山県及びその周辺の地震活動をお知らせするとともに、適宜、社会的関心の高い地震について解説します。また、「地震防災メモ」により地震、津波に対する防災知識の普及等に努め、皆様のお役に立つことを目的としています。
●この資料の震源要素、震度データは、再調査されたあと修正されることがあります。
●本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。
また、2016 年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校)、EarthScope Consortiumの観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。

岡山地方気象台

岡山県及びその周辺の地震活動(８月)

震央分布図及び断面図



左上　震央分布図（地図内の細線は活断層を表しています。）
右上　南北断面図
左下　東西断面図

概況

８月の概況
・８月に岡山県で震度１以上の揺れが観測された地震は０回（前月：２回）でした。

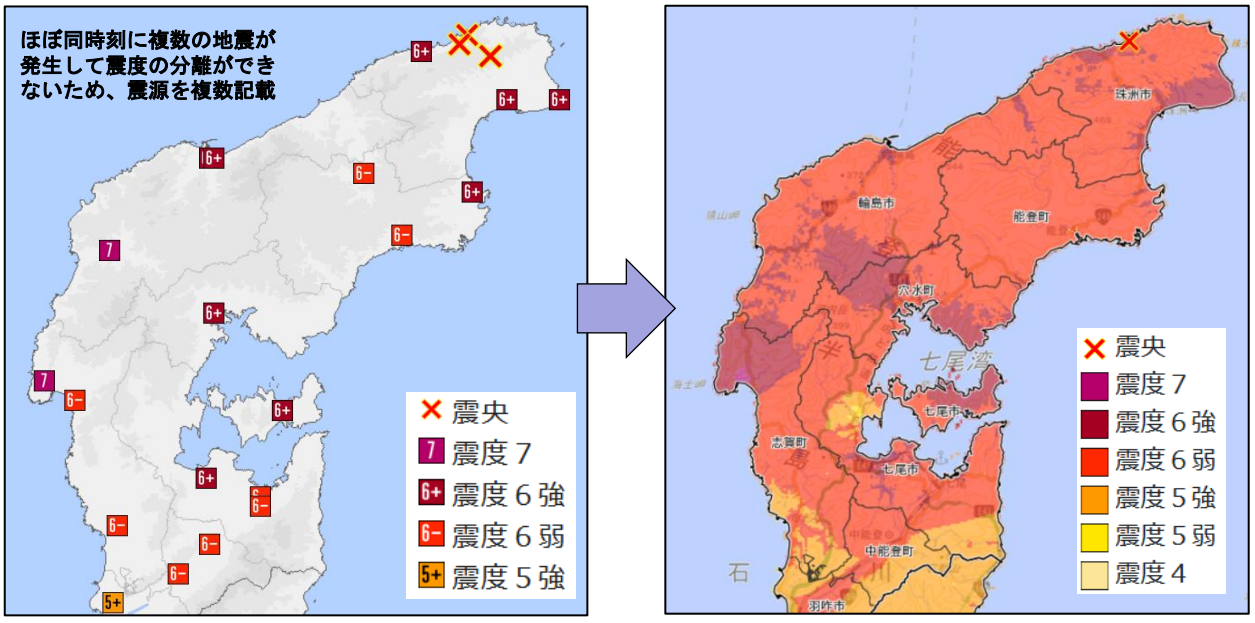
推計震度分布図について

〇推計震度分布図とは

気象庁では関係機関の協力も得て全国4,300点以上の震度観測点のデータを収集し、震度情報を発表しています。「推計震度分布図」は、こうして得られた震度を基に、震源や地盤の情報を使って、震度計のない場所の震度も推計し、面的に表現したものです。

推計震度分布図で強い震度が推計された地域は、河川の流域、沖積平野、湿原地帯などといった揺れやすい地盤を反映していることがあります。

例として、令和6年能登半島地震の際、震度観測点で観測された震度の分布図と推計震度分布図の比較を以下に示します。推計震度分布図では、谷筋や、震央からやや離れた平野部でも、強い震度の領域が広がっており、格段に情報量が増えていることが分かります。



震度観測点の震度の分布図　　**推計震度**分布図（250mメッシュ）

〇提供方法

原則的に全国いずれかの震度観測点で震度5弱以上を観測した場合に、震度4以上が推計された範囲の分布を、地震発生後15分を目途に、地方公共団体等関係防災機関に提供するとともに、気象庁ホームページにも掲載します。

〇推計震度分布図の利活用

推計震度分布図は、地図データとして活用可能な形式で、250mメッシュごとに推計した震度情報を提供しますので、様々な用途にご活用いただけます。また、気象庁ホームページでも、市町村名や、主要道路・鉄道の載った地図データと重ね合わせて掲載しますので、揺れが強かった地域を一目で確認することが可能です。

推計震度分布は、地震発生直後の、応急対応すべき優先箇所の判別や、迅速かつ適切な救難ルートの選定や避難場所の選定等にも活用が期待できます。

なお、ある震度が推計された地域において、どのような現象や被害が発生すると想定されるかについては、気象庁震度階級関連解説表をご参照ください。

（参考）気象庁　推計震度分布
https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=estimated_intensity_map
気象庁　推計震度分布図について
https://www.jma.go.jp/jma/kishou/know/jishin/suikei/kaisetsu.html
気象庁　気象庁震度階級関連解説表
https://www.jma.go.jp/jma/kishou/know/shindo/kaisetsu.html